

平成30年度 桑原学園 学校経営基本方針

学校課題

- ◇ 自分で考え、判断し、行動する主体性の育成
- ◇ 自己表現を支える「論理的に話し、真摯に聞き、積極的に書く力」の育成
- ◇ 願いや目標をもち、仲間に関わり、仲間と共に高まろうとする意識の育成
- ◇ 学校・家庭・地域の連携を深め、地域の中で活躍できる社会性の育成

9年後の目指す姿

地域への誇りを土台に、目標に向かって主体性と協調性を発揮し続ける人材の育成

学校の教育目標

じがく きょうせい たんれん

自学 共生 鍛錬

(合言葉) じぶんひとりでも、みんなとでも、がんばれる子

今年度の重点

- ◎ 前期課程・後期課程の統合
- ◎ 学校評価「みんなで何かをするのが楽しい」の割合85%以上
- ◎ エキスパートな一人を育てる(モデルを育てる)

市の方針

- ① 9年間を見通した系統的な学習指導を進め、確かな学力を定着させる。
- ② 学校、家庭、地域が協働し、継続的な生徒指導を行い豊かな心を育てる。
- ③ 小・中の教育の在り方やシステムを理解し合い、発達段階に応じたきめ細かな指導により、学校生活への適応力を向上させる。
- ④ 英語教育、ICT教育により、未来に生きる社会に対応できる能力を育てる。
- ⑤ 地域の実態に応じた小中一貫教育の在り方を模索する。

自学

共生

鍛錬

確かな学力の定着

- 9年間を生かした教科担任制
- 9年間で高める学習姿勢（話し方・聞き方・反応の仕方）
- 9年間で見直す学習計画（つまづきやすい学習内容の洗い出しと改善）
- 9年間で見直す指導過程（前期の知識・技能、後期の思考・判断）
- 9年間で培う自ら学ぶ意欲をもった学習集団（道徳授業を核として「分からない」が言える学習集団の育成）
- 9年間で育てる語彙力・表現力（辞書の活用、図書館利用・読書指導の充実）
- 9年間で身に付ける使える英語力
- 9年間で身に付けるICT活用
- 9年間で見直す家庭学習と基礎学習

自治・自浄意識の育成

- 9年間こだわる自治・自浄の願いと目指す姿を明確にした特別活動
- 9年間を生かした効果的な異年齢集団活動
- 9年間通して人権尊重の気風が漲るあたたかい言動の実践
- 9年間こだわる挨拶・反応（社会に通用する挨拶・反応名人）
- 9年間で作り上げる児童生徒による授業や係・委員会活動（教え合い・伝え合う工夫、リーダーや教科係の活躍）
- 9年間で育てる福祉の心、地域に貢献する人材育成（双樹園交流、校内・地域ボランティア、児童会生徒会サミット、コミュニティセンター行事、地域関連行事等への参画）

志の醸成

- 9年間を生かした、キャリア教育・志教育・本物にふれる体験（地域産業、職場体験、外部講師、高校見学、一日入学等）
- 9年間やりすぎる目標や目的を明確にした運動の取り組み（体力づくり、部活動）
- 9年間通して自分で生活を律する指導の重視（進路実現に向けた家庭学習習慣、自主学習、家庭でのルール作り、生活習慣）
- 9年間で育てる、自分を守り、地域を守る地域防災人の育成（命を守る訓練、登下校）
- 9年間で築く、伝統の時間いっぱい、すみずみまでやりすぎる掃除、花活動
- 9年間継続させる教育相談・学習相談・進路相談（ハートアップタイム、Q U、エンカウンター）

地域活性化に貢献する小・中一貫教育 自己肯定感、学力、コミュニケーション力、志、地域資源活用

家庭・地域との連携

- ・PTA、保護者、地域に対する学校情報の積極的な配信
- ・PTA、保護者、地域からの情報についての積極的な収集（良くない情報こそ大切にす）
- ・コミュニティセンターによる、地域人材の活用

<学校づくりの基本>

- ◎ ほめる。指導してほめる。ほめて見届ける。ほめたことを保護者と共有する。
- ◎ 児童生徒、保護者、地域の方、来校者（業者の方も含む）、同僚への気遣い、目配り、耳配りができる力を付ける。
- ◎ スリム化、指導改善、不祥事根絶の職員室立っての議論を大切にする。
- ◎ 挨拶、笑い声、学び合い、フットワーク軽い職員室、職員集団とする。
- ◎ 自ら考える、挑戦する、粘り強く議論する、相手を尊重する、積極的に発信する。

関係諸機関との連携

- ・日常的な情報交流と迅速な対応
- ・交流を通しての学び（合同運動会、合同引き渡し訓練（桑原保育園等との連携））
- ・児童委員等との情報交流